

沖 縄

沖縄の景気は、個人消費、観光が好調を持続し、拡大。

個人消費は、スーパー販売において衣料品、食料品が増加するなど、好調を維持。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少し、足許減少。設備投資は、建築着工床面積が増加するなど、やや上向き。公共工事は、国、県が増加し、足許増加。輸出は、一般機械、鉄鋼が減少し、やや弱含み。

生産活動は、鉄鋼、金属製品が増加したものの、プラスチック製品、窯業・土石製品が減少し、全体では横這い。観光は、国内客、外国人客ともに増加し、好調を維持。雇用は、完全失業率が低下するなど、改善。

先行きは、拡大が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								